

薬物代謝酵素の発現を調節する栄養素の探索とその機序の解明

薬学科（衛生分子毒性学分野） 保坂 卓臣

●連絡先 TEL：054-264-5683

キーワード

医薬品，薬効・副作用，薬物代謝酵素，栄養素



薬物代謝は医薬品の薬効および副作用を決定する主要な過程です。例えば、薬物代謝能が強すぎる場合は医薬品の血中濃度が十分に上がらず、薬効が現れません。逆に薬物代謝能が弱すぎる場合は血中濃度が上がりすぎて副作用が出る可能性があります。薬物代謝能には個人差および個人内変動があることが知られており、そのメカニズムの解明は医薬品を有効かつ安全に使用していく上でとても重要な課題です。薬物代謝を司るシトクロムP450(CYP)などの薬物代謝酵素の量にも個人差および個人内変動が存在します。私達は、普段食事から摂取する栄養素の中にこれら薬物代謝酵素の量を調節するものがあるのではないかと考え、その栄養素の探索と詳細な調節メカニズムの解明を目指し研究を行っています。

アピールポイント

薬物代謝能の個人差および個人内変動の原因解明を目指し、薬物代謝酵素の体内における量を決定する栄養素の探索を行っています。